

～黄花ルピナスの育て方～

■土

PH6.5～7.5 のアルカリ性の土がよい。

酸性土壌では育成が鈍りますので、あらかじめ石灰を1㎡あたり
30g ～40g 程度播いておくとうい。

■環境

Point 日当たりのよいところを好みます。

水はけのよいところに植えるようにする。

(発芽適温は15℃～20℃)

■播き方

Point 浅めに植えること。(土はさらっと上にかぶせるくらいにする)
間隔を十分にあけて植え付けること。

■水やり

鉢植えの場合 土の表面が乾いたらたっぷり与えてください。

地植えの場合 植え付けたばかりは土の表面が乾き始めたらたっぷり与えてください

Point 水のやりすぎには注意；根ぐされを起こす原因になります。
また、冬に水やりをする場合は、午前中のうちにすること。
(凍らせると枯れる)

■その他（参考）

移植を嫌いますので、植え替えはあまりしないほうがよい。

⇒移植をする場合は、根を切らないように気をつける。

ルピナスの種は種皮が硬いので植える直前に一昼夜水に漬けておくとうい。

アブラムシに注意する。

肥料を与える場合は、

鉢植えの場合・・・月に一度、暖効性肥料を与えてください。

地植えの場合・・・植え付け時に、暖効性肥料を与えてください。

※播く面積と種の目安＝100㎡あたり 400g